

令和5年度「西濃地区学校図書館教育賞」受賞校

西濃地区教育長会

1 趣旨

西濃地区管内の小・中学校における学校図書館の整備活用を促進し、学校図書館を利用した教育活動の充実に資する。

2 主催 西濃地区教育長会

3 受賞校

最優秀賞(1校)	関ヶ原町立関ヶ原小学校	
優秀賞(7校)	大垣市立赤坂小学校	養老町立養北小学校
	垂井町立垂井小学校	垂井町立府中小学校
	輪之内町立仁木小学校	安八町立牧小学校
	池田町立温知小学校	
奨励賞(8校)	養老町立日吉小学校	安八町立名森小学校
	安八町立結小学校	大野町立西小学校
	大垣市立西中学校	神戸町立神戸中学校
	安八町立登龍中学校	大垣市・安八郡安八町組合立東安中学校

4 受賞校の紹介

【最優秀賞】

○関ヶ原町立関ヶ原小学校

「読書の喜びを味わい、進んで学校図書館を利用し、自分の生活や学習に役立てる子を育てる」という図書館教育の目標を掲げ、全校体制で組織的・計画的に図書館教育が推進されている。

読書センターとして、児童が進んで本を手に取り、読書を楽しめるように、本のおもて表紙を見せる配置を多くしたり、図書委員会を中心に児童が作成したポップを数多く掲示したりする取組を行っている。また、人気の本や新しく配架された本だけでなく、様々な分類の本に対する興味を引くように多くの本が紹介されている。このような取組により、児童が自由に好きな本を選び、読書に親しむきっかけづくりを行う機能を充実させている。

学習センターとして、図書館資料を活用した学習の仕方や、どんな時に調べ学習を行うのかが分かる掲示物があるところを示してあることによって、児童の自発的・主体的な学習を支援している。さらに、総合的な学習の時間コーナーを設置し、学習の過程を示す資料を示したり、活用できそうな図書館資料について紹介したりして、児童はその掲示物を参考にしながら資料を活用し、個々のテーマについての探究活動を進めている。

情報センターとして、社会科、総合的な学習の時間で活用できる資料のリストを個人のタブレット端末で見ることができる取組を行っている。また、先輩の学習作品を展示し、それを借りることができるようにしている。こうした取組により、児童の情報の収集・選択・活用能力を育成する機能を高めている。児童や教職員の情報ニーズに対応できる活動を、全校体制で計画的・継続的に推進している。

他にも、地域の読み聞かせクラブや公立図書館の方による、読み聞かせやブックトークを行い、学校と地域が一体となった図書館運営がなされている。

【優秀賞】

○大垣市立赤坂小学校

新聞の情報とつなげて、おすすめの本の紹介コーナーを更新し、児童の読書意欲を高めている。また、調べ学習の足あとを累積する取組により、児童がどの本で調べ学習をするとよいか分かり、主体的に調べることができ、学習・情報センターとしての機能を果たしている。



○養老町立養北小学校

各教科や領域で活用できる図書館資料を一覧としてファイルにまとめ、図書館に配架している。その一覧をもとに、児童も教職員も、図書館資料を調べ学習に活用するなど、情報センターとしての機能の充実を図っている。



○垂井町立垂井小学校

本と共に、学習に関連する情報を展示するなど、様々な観点で本を紹介し、児童が手に取りやすい工夫がなされている。また、校内の様々な場所にも学習や生活とつながる関連図書を配置し、読書に対する興味・関心を高める取組を行っている。



○垂井町立府中小学校

調べ学習室では、学習において図書館資料を活用しやすいよう、各教科に関連した図書コーナーが設置されている。また、モデルとなる児童の学習作品を展示し、より深い学びを促す情報センターとしての機能を果たす環境整備が推進されている。



○輪之内町立仁木小学校

調べ学習室を設置し、図書館資料を活用し、主体的に学ぶことができる学習センター、情報センターとしての環境の整備が進められている。学習で活用できる本の一覧や、児童の学習作品が展示され、教科や領域の学習とつながり機能を果たしている。



○安八町立牧小学校

読書ファイルには、読書の記録に加えて図書館資料を通して調べた言葉などを個々の財産として残すことができる工夫がなされている。図書館資料を活用した作品を数多く展示し、読書と学習への関心を高める機能を果たしている。



○池田町立温知小学校

図書館や廊下に展示されている QR コードで、教職員や図書委員のおすすめの本の紹介動画を見られる活動を行い、児童の読書意欲を高める取組を行っている。児童が主体的に図書館資料を活用できるような環境整備が推進されている。



5 審査概括

- ・ 委員会活動による図書館祭り等の運営やおすすめ図書の掲示、紹介など、児童生徒が主体となる取組が多く見られる。
- ・ 時事に触れる機会として、新聞を配架するだけでなく、児童生徒の目に触れやすいように図書館に掲示している学校がある。また、記事の内容ごとに切り抜いて掲示、保管するなど、学習・情報センターとしての新聞の活用を進めている学校が多くある。
- ・ 国語科の学習を中心に、社会科や理科、総合的な学習の時間においても、図書館資料を活用した学習が進められている。また、図書館資料を活用した児童生徒の作品を図書館内で展示することにより、他学年に広めようとしている取組が多く見られる。
- ・ 読書感想文の書き方や調べ学習の仕方、新聞の読み方を掲示するなど、児童生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫が多く見られる。
- ・ 高い書棚はしっかりと固定され、安全に図書館が利用できるようになっている。また、児童生徒が取り出しやすいよう本棚の手前に本を配置する、本の表紙が見える配置をする、届きやすい高さに本を並べるなどの環境整備が進められている。